

問題【国語】

(1)～(6)の下線部の読み方を答えなさい。

- (1) 下水道処理施設 (2) 飛行機が降下し始める。
(3) 値段を下げる。 (4) 車を下りる。
(5) 判断を下す。 (6) 青空の下、運動会を催す。

豆知識 雑学コラム

読み方の多い漢字

今回は漢字の読みについてみていきましょう。漢字には、中国由来の読み方である「音読み」と、日本で生まれた「訓読み」と二つの読み方があることはご存じのことと思います。しかし、今回出題した「下」のように「音読み」と「訓読み」がそれぞれ複数あって、いろいろな読み方をする漢字もあります。なぜ、一つの字にたくさんの読み方があるのでしょうか。見ていきましょう。まずは、音読みについてです。音読みは中国由来の読み方ですが、中国の中で漢字の読み方が一通りしかないという訳ではありません。日本語でも、古文と現代文で単語や意味が変わることがあることや、地域によって方言があるように、中国でも時代や場所によって漢字の読み方が違います。その時代や地域によって違う読み方を日本人がその時々で吸収して日本語に取り入れることで複数の音読みが生まれることになりました。例えば、「下」を「ゲ」と読むのは漢字が最初に日本に伝わったときの読み方（呉音）で、「カ」は遣隋使や遣唐使によって日本に伝えられた読み方（漢音）となります。

次に、訓読みについてです。訓読みはもともとあった日本語の読みにその意味を表す漢字を当てることで作られました。例えば、「さがる」は「低下」の「下」を使って「下がる」、「おりる」は「下車」の意味から「下りる」といった具合です。「下」はもともと中国で多くの意味で使われたため、「さ(げる)」、「お(りる)」、「した」、「もと」など多くの訓読みが生まれました。さて、今回の問題の「青空の下」は「青空のした」でしょうか、「青空のもと」でしょうか。それぞれ、どんな時にその読み方になるか意味から考えてみましょう。「した」は「机の下」のように「あるものより位置が低いこと」を表し、「もと」は「法の下」のように「何かの支配、影響、恩恵を受けていること」を表します。「青空の下、運動会を催す。」の場合、「青空の影響、恩恵を受けて」と考えることができるため「青空のもと」と読むこととなります。たくさんの読み方のある漢字は覚えるのが大変ですが、それだけ重要な字であるということの表れです。がんばって覚えましょう。

【解答】

- (1) おりる (2) くだる (3) げん (4) くだる (5) くだる (6) くだる